

山形大学の学生・ご家族の皆様へ

コロナ禍により生活に多くの影響が出るなか、山形大学の前期授業は原則オンラインで進めてきましたが、10月からの後期授業は十分な感染防止対策の上で、対面による授業を再開する予定です。

オンライン授業の継続を求める声もありますが、教員や他の学生と直接学び合うことが、授業の理解力を大きく高めます。実験・実習は、自らの手を動かして成功や失敗を経験してこそ、理解できることが多くあると考えています。対面授業の再開に合わせて、サークル活動についても屋内の活動を含めた活動制限の緩和を進める予定です。特に1年生の皆さんには、大学での友人を作る機会がほぼないまま、前期期間を過ごしてもらうこととなりました。これから、授業やサークル活動等を通じて、仲間との絆を育み、心の成長にも繋げてほしいと思います。

いま、私たちに必要なのは、新型コロナウイルスの感染を拡大させないという強い意志と、それを実現する行動、そして他者への思いやりです。山形大学は皆さんと共に「with コロナ」の新しい学びの実現に全力で取り組みます。感染症対策には、お互いの距離の確保や手洗い・うがいといった、一人一人の地道な努力が必要です。どのような場所・環境で感染が拡大するかは、多くの事例が報道されています。学生の皆さんには、このような事例から学び、社会の一員として感染防止のために自分が何をなすべきか、常に考えて行動するようにお願いします。危機を乗り越えるために、周りの人への心遣いや、感染者となった人への思いやりも大切にしてください。

これから9月下旬までの7週間は、「with コロナ」の新たなキャンパスライフを始めるための大切な準備期間です。皆さんがどのような準備をすれば良いのかは、WebClass や大学ホームページでお知らせしますので、必ず確認するようにお願いします。山形大学では、これまで生活が困窮した学生への経済的支援を行っており、今後も対応してまいりたいと考えています。困ったことがあれば、教職員が一丸となって皆さんをサポートしますので、お気軽にご相談ください。元気な皆さんにキャンパスでお会いできるのを楽しみにしています。

令和2年8月6日 山形大学長 玉手 英利